

平成 27 年度決算について(概要)

(1) 資金収支計算書

平成27年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が 36 億 4,202 万 6,904 円、これに、前年度より繰り越された 31 億 9,216 万 9,561 円を加えると収入の部合計は、68 億 3,419 万 6,465 円となった。

一方、支出額は、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係、設備関係、資産運用、その他の支出を合わせると 35 億 6,009 万 87 円であったので、差引 32 億 7,410 万 6,378 円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より 8,193 万 6,817 円増加した。これは、収入における補助金収入や学生生徒等納付金収入などの増が、支出における資産運用支出やその他の支出などの増を上回ったことによるものである。

(2) 事業活動収支計算書

平成27年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入は、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入のすべての科目において予算額を上回った。

学生生徒等納付金については、24 億 3,838 万 6,400 円、経常費等補助金は 7 億 917 万 3,445 円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を 5,209 万 2,913 円上回り、33 億 8,595 万 913 円となった。

一方、支出は、人件費、教育研究経費、管理経費とも予算額を下回り、その結果、教育活動収支における教育活動支出額は、31 億 5,400 万 7,887 円となった。

この結果、教育活動収支差額は 2 億 3,194 万 3,026 円となり、その他の、教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、2 億 7,805 万 5,162 円となった。

また、基本金への組入額は、3 億 9,767 万 8,811 円となっている。この内訳は、幼稚園南園舎の耐震工事、中・高冷暖房設備工事などによる第 1 号基本金組入額が 2,277 万 8,811 円、短大新棟 I 建築等に係る第 2 号基本金組入額が、3 億 7,490 万円となっている。

基本金組入後の当年度収支差額は、△1 億 1,962 万 3,649 円で、前年度の繰越収支差額と合算して、翌年度繰越収支差額は△20 億 8,152 万 6,258 円となった。

(3) 貸借対照表

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、平成27年度末現在の資産の総額は、147 億 8,565 万 5,425 円となった。その内訳は、有形固定資産 86 億 9,775 万 3,118 円、特定資産 27 億 6,851 万 8,308 円、その他の固定資産 210 万 6,938 円及び流動資産 33 億 1,727 万 7,061 円(内未収金 3,854 万 3,363 円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して 20 億 5,966 万 3,095 円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第 1 号基本金が 135 億 4,435 万 4,475 円、将来固定資産の取得に充てる第 2 号基本金が 10 億 3,590 万円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第 4 号基本金が 2 億 2,726 万 4,113 円となっている。